

2023 年度医師の負担軽減及び処遇改善

当院では医師の負担軽減及び処遇改善のため、下記の項目について取り組みを行っております。

医師事務作業補助者の活用

医師事務作業補助体制の構築と配置（以下の部署に配置）

- ・外来ブース
- ・病棟（8病棟）
- ・内視鏡センター
- ・予防医療センター
- ・救急室（ER）
- ・手術室
- ・透析室
- ・医療クラーク課 等

業務分担としてのチーム医療の推進

- ・栄養サポートチーム
- ・緩和ケアチーム
- ・褥瘡対策チーム
- ・肝臓病チーム
- ・糖尿病療養チーム
- ・糖尿病透析予防チーム
- ・呼吸ケアチーム
- ・CVCチーム
- ・口腔ケアチーム
- ・RRT 急変時初動チーム
- ・感染対策チーム
- ・報告書体制チーム
- ・がんリハビリテーションチーム
- ・手術室タスクシフトチーム
- 他

電子カルテシステムをはじめとするICTの積極的な導入

- ・電子カルテ・レセプトシステム
- ・年間検査予定オーダーシステム
- ・クリニカルパスシステム
- ・画像診断レポートシステム
- ・放射線情報システム（RIS）
- ・抗がん剤プロトコルシステム
- ・手術画像HD記録システム
- ・眼科検査支援システム
- ・統合参照システム
- ・看護支援システム 他

地域の医療機関との連携、地域診療所・クリニックへの逆紹介の推進

他の医療機関等との取組みによる看護職員や他の医療従事者及び病院勤務医の負担軽減
紹介入院患者の退院に際して、紹介元へ返す逆紹介活動を推進している

- ・紹介受診重点医療機関としての機能
- ・入退院調整の評価
- ・脳卒中・がんに対する地域連携診療計画の評価 等

薬剤師の病棟配置

薬剤師を各病棟に配置し、薬剤関連業務について専門知識を活かし業務効率を上げる
ことで、看護職員や他の医療従事者及び病院勤務医の負担軽減を推進する

処遇改善

下記、処遇改善により医師や看護師及び他の医療従事者の負担軽減を推進する

- ・院内保育室の充実
- ・産休・育休制度の充実
- ・短時間正規雇用制度の活用
- ・夜勤・当直専従者の活用
- ・予定手術前日当直の配慮
- ・非常勤職員の活用 等

